



～ここは東京丸の内にある運用会社「一寸アセットマネジメント」～
 今日も“ちょっと”気になる巷の出来事が話題
 一寸アセットマネジメントのとある一日
 「日本の消費者物価って本当に上がっていないの？」 (第63号)

ここは東京丸の内の運用会社（一寸アセットマネジメント）のある日の昼休み。
 マルチリサーチ部のメンバーは、日頃“ちょっと”気になる出来事で雑談中です。

・今日の雑談メンバー

- J課長・・・マルチリサーチ部の新メンバー。ムードメーカーだが、少しおっちょこちょい。
- B係長・・・ワーキングマザー。仕事と子育て・家事の両立に奮闘中。趣味は食べ&飲み歩き。
- Hマネージャー・・・マルチリサーチ部の新人。探究心が旺盛ゆえ、先走ることもある。

J課長



11月22日に10月の日本の消費者物価指数(生鮮食品を除くコアCPI)が前年同期比で+1.0%になったという報道があったけど、日本銀行が目標とする消費者物価指数の前年比上昇率+2%にはまだまだ遠いね。

Hマネージャー

消費者物価の上昇率が+1.0%なんて信じられませんよ。個人的には、もっと上がっているように感じます。



J課長



確かに値段が上がっているなあと感じることはあるね。物の値段ではないが、私の趣味のゴルフのプレー代が数年前に比べて明らかに高くなっている実感はあるよ。

(図表1) ゴルフプレー料金 (会員制ゴルフ場の平日ビジター料金)
(2015年基準・東京都区部) の推移

2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
94.7	97.8	99.3	103.8	104.8	105.2

・上記指数は2018年との比較のため、各年1月～11月の指数の平均値としている。

出所) 総務省データをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

Hマネージャー

えっ、J課長、そんなにゴルフ行っているんですか。最近僕も始めたところなんで、今度どこかに連れて行ってください。給料も多くはないので、高いコースには行けませんが。



B係長

私もゴルフを始めたいと思っているんですけど、プレー代が上がっているならやめようかな。地元のスーパーで売っている食料品の値段も上がっているように感じますし。。



Hマネージャー

値段は変わらないけど、商品の量が減っていて、実際には値上げされているような商品もありますよね。

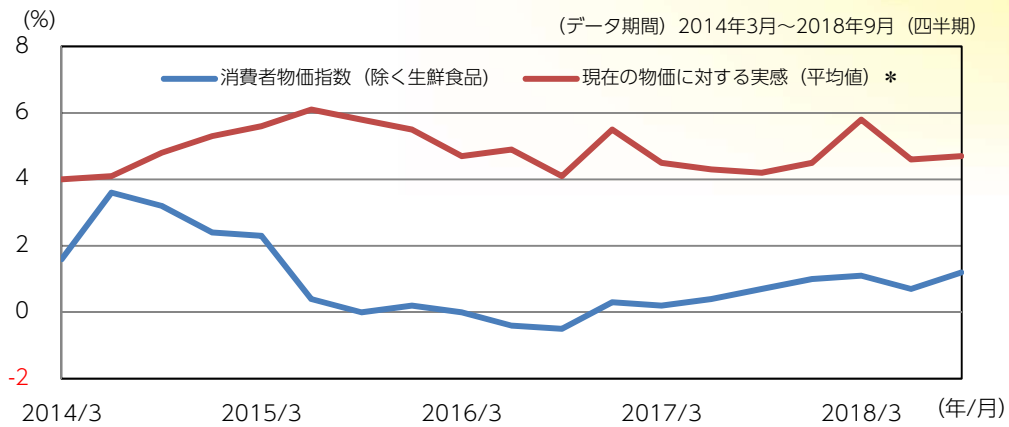


J課長



世間でも我々と同じように感じている人は多いようだよ。四半期毎に日本銀行が行っている「生活意識に関するアンケート調査」(2018年9月調査)では、物価に対する消費者の体感(1年前対比)は平均で4.7%上がっているとの回答だった。1.0%と4.7%の差はかなり大きいよね。

(図表2) 消費者物価指数と現在の物価に対する実感



* 極端な値を排除するために上下各々0.5%のサンプルを除いて計算した平均値。
出所) 日銀、ブルームバーグデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

なんでそんなに差が出てしまうんでしょうね。実際のCPIは高いけど、体感は低いということなら、まだいいのですが。

B 係長



J 課長



購入頻度の高い生鮮食品の値段が上がっているのでも、物価が上がっていると感じるんじゃないかな (10月の消費者物価指数で生鮮食品は前年同月比+10.8%)。携帯電話の通信料のように下がっている費目もあるから、全体では1%しか上昇していないんだけど。

B 係長



でも、食料品以外にガソリン代も上がっていますよね。実際に自分のお財布からお金が出ていくので本当に物価が上がっている実感があります。

H マネージャー

実感として5%近く上がっているなら、給料もそれくらい上がらないと僕の生活も苦しいままってことですよ。よし、今から、部長に給料を5%上げてくれるよう直訴してきます。

J 課長



実際のCPIの上昇率は1%だから、5%はちょっと無理なんじゃ。。。1%上げてもらえれば御の字だと思うなあ。



(図表3) 日本の消費者物価指数の構成費目及びウエイト (2015年基準・全国)

	ウエイト
食料	26.23%
(内生鮮食品)	(4.14%)
住居	20.87%
光熱・水道	7.45%
家具・家事用品	3.48%
被服及び履物	4.12%
保険医療	4.30%
交通・通信	14.76%
教育	3.16%
教養娯楽	9.89%
諸雑費	5.74%
	100.00%

出所) 総務省データをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>